



功労者へ感謝状贈呈

町制発展に尽力した功労者80人に、町から感謝状と記念品が贈られました(順不同、敬称略)。

甲斐 力夫	宮崎 信輔
松田 良治	宮本 力
本田 安洋	吉澤 廣幸
木村 元一	松本 才七
佐川 勲	栗永 榮一
丹生 正作	吉田 誠地
宮村のり子	中熊 英昭
田中 隆敏	横山 清一
畑田 良一	富永 聖光
森田 壮志	西田 馨
岩田 重成	甲斐田 鶴子
井本 昭光	本田 秀行
吉村 公一	高松 正也
佐藤 俊明	小田 邦夫
沖 徹信	井芹 保邦
林田 眞一	土田 幸人
光永 信一	徳永 直幸
山内 善博	渡邊 信一
井口 誠一	古田 一英
増永 信行	中村 光春
前田 司	永友 利幸
眞淵 正信	竹内 昭剛
須賀とよこ	高田 圭一
浦田 博	山口 陽子
藤岡 孝道	清水 聖
奥村 雄治	奥村 泰代
明月 聖矢	住永 一大
古閑 榮実	米増 孝博
米田 則昭	増本 連子
石坂 浩秋	富永 浩生
内村 健一	永田 斉
横山 昭則	田村 実
本田 勝敏	玉田 孝二
其川 天佑	神吉 信之
井島 登	故・奥田盛人
永友 政輝	西田 慎介
荒木 誠治	塚本 一明
杉本 史生	一ノ瀬優希
岸 勝儀	
片岡 浩喜	

玉野総合コンサルタント(株)
熊本事務所

Attraction



60th anniversary of Mifune town birth



町制誕生60年

御船町合併60周年記念式典

町

制誕生60年の節目を祝う記念式典が2月1日、町カルチャーセンターで開催され、町内外から関係者約340人が参加して、まちの歩みを振り返った。

御

船町は、昭和30年1月、旧御船町と滝水村、七滝村、木倉村、高木村、豊秋列村(小坂陣、豊秋)の1町5村が合併して誕生した。昭和37年4月1日に、旧矢部町の松ノ生区を編入して、現在の御船町となった。

式

で、山本孝二町長が町制の歩みに触れ、「先人の英知、思いを受け継ぎ、古きものを大切に守り、新しきものを育み、子どもたちが誇れる御船町をともしくりに上げていきたい」と式

辞。町発展に尽力した元三役や各種委員、団体役員の経験者など80人に感謝状と記念品が贈られ、代表して18人が受け取った。式には、県選出の国會議員や上益城振興局長、県議會議員、県町村会会長が来賓として出席した。

式

典終了後は、七滝秀章校長、児童82人の6年生8人が、劇「宮部鼎蔵さんのこころ」、新風太鼓「響」のアトラクションを披露した。児童たちの迫真の演技と一心不乱なバチさばきに会場から、この日一番の拍手が送られた。



町の歴史

History

昭和30年1月	御船町誕生
昭和31年11月	御船町庁舎が落成
昭和32年8月	御船音頭を発表
昭和34年5月	県民体育祭が開催
昭和35年4月	町章制定
昭和36年10月	城山天満宮が再建
昭和37年4月	検察庁が落成
昭和38年10月	宮部鼎蔵殉難百年祭
昭和40年4月	広報みふね第1号が発行
昭和41年10月	御船町立体育館落成
昭和42年4月	若菜保育園が落成
昭和43年11月	郷土先哲の碑が建立
昭和44年4月	上野保育園が落成
昭和45年5月	天君農地防災ダムが完成
昭和47年4月	町民グラウンド完成
昭和48年5月	熊本音楽短期大学が開校
昭和49年4月	第1回があーっば祭りが開催
昭和49年5月	老人憩いの家「眺世庵」が落成
昭和50年3月	上益城総合庁舎が落成移転
昭和50年3月	御船保健所が落成移転
昭和50年3月	上益城消防署が実働開始
昭和50年3月	上益城消防本部消防庁舎が落成
昭和51年4月	御船川河川改修工事
昭和51年4月	町花をふじ、町木をもつくに決定
昭和51年4月	水越保育所が落成
昭和51年4月	九州自動車道「熊本」御船間開通
昭和52年11月	熊本名勝百景に吉無田高原、御船川目鏡橋、白壁の酒蔵が入選
昭和53年3月	御船中新校舎が落成
昭和54年8月	高木保育園が落成
昭和55年2月	日本初の肉食恐竜の化石が発見
昭和57年4月	町民憲章制定
昭和59年10月	吉無田高原「緑の村」一部オープン
昭和60年11月	御船町新庁舎が落成
昭和61年4月	町社会福祉協議会が発足
昭和63年5月	保健センター落成
平成2年3月	集中豪雨で壊滅的被害
平成4年4月	天君ダム周辺から恐竜の化石が発見
平成4年4月	カルチャーセンター落成
平成8年4月	天君ダム周辺から恐竜の化石が発見
平成10年4月	スポーツセンター落成
平成16年4月	恐竜博物館オープン
平成24年8月	合併の賛否を問う住民投票実施
平成26年3月	シンボルロード全線開通
4月	九州自動車道「嘉島」小池高山間開通
4月	新恐竜博物館オープン